

国見公民館だより

福井市鮎川町 133-1-3 TEL/FAX 88-2004 E-mail: kunimi-k@mx1.fctv.ne.jp

令和5年7月22日発行 第24号 (令和5年度第4号)

❖ 福井市総合防災訓練

6月25日(日)午前8時から、福井市の総合防災訓練が実施され、国見地区では自治会ごとに、津波発生を想定した時の避難訓練がありました。サイレンの合図の後、自治会の班ごとにグループ避難場所へ集合し、避難者数を確認したり、実際に津波避道を登ってみたいりました。



↑ 鮎川新町の避難訓練の様子

❖ 避難所開設初動対応研修会

6月25日(日)午前9時30分から、国見公民館大ホールにて、本年度の国見地区自主防災組織連絡協議会の研修会が開催され、同協議会の構成員等約40名が参加し、災害発生から避難所開設までの流れや、避難所開設の初動対応について学びました。避難所は曜日や昼夜を問わずに開設されることや、市役所から避難所対応職員が到着するまでのタイムラグがあることから、同協議会の構成員間での情報共有が重要です。防災関係のリーダー等が不在でも迅速に開設できるよう、備蓄資材の所在を確認したり、簡易ベッドや災害用間仕切りの組み立て方等を学びました。

↓ 研修会で災害用間仕切りを組み立てている様



国見地区については、避難所は、まず国見公民館に開設されることになっていて、制限人数の37名を超えた場合、国見小学校の体育館でも避難所を開設することになっています。ただし、地震発生直後には津波発生のおそれがあるので、国見小学校は避難所としては使用できないので、各自治会の一時避難所等に避難し、津波発生のおそれがなくなってから国見小学校体育館を利用することになります。

今後開催予定のイベント等

7月29日(土)・・・地区夏祭り(地区民対象)

7月29・30日・・・おかえりサマー(児童、生徒対象)

8月3・9・25日・・・夏休みワイワイ広場(児童対象)

9月1日(金)・・・地区健診(地区民対象、午前9時～)

お問合せ:国見公民館(Tel88-2004)

❖すこやか学級（出前講座）開始

本年度のすこやか学級の出前講座が、6月21日(水)に白浜町と小丹生町、22日(木)に国見町と鮎川町、23日(金)に大丹生町で、それぞれの集落センターにて始まりました。この出前講座は地区社会福祉協議会の協力を得て、各町内のシルバー喫茶への参加者を対象に防災教室(6月)、交通安全教室(7月)、健康長寿教室(8月)、防犯教室(9月)と開催していきます。また、すこやか学級ではこの出前講座の他にも、秋の研修会として志野製塩所の見学会、年度末の講演会等を予定しています。

高齢者の皆さんにとって新しいことを学ぶことは脳の老化予防にも繋がるので、健康長寿の国見地区を進展させるためにもたくさんの皆様の受講をお待ちしております。



❖地区自治会連合会（区長会）概要

7月3日(月)午後、各自治会の区長さん達が出席し、恒例の区長会が開催され、次の課題等が協議されました。

- ①地区文化祭は10月29日(日)の予定で、特別講演会のテーマは「北前船」とし、詐欺防止講習会として県警音楽隊の誘致を基本方針とする。
- ②地区夏祭りを7月29日(土)に開催するが、特に後始末に関して各自治会役員の協力を呼び掛けた。
- ③地域海岸バスのダイヤ改善の市長あての要望書は6月22日(木)に担当課へ提出済
- ④西部地域国道・県道整備促進同盟会総会に水上連合会長出席、行政から (1)国道305号線糸崎カーブ工事は令和6年度中に嵩上げ部完了予定 (2)国道305号線と416号線接続工事は令和6年度中に接続完了予定との報告
- ⑤健康長寿者お祝い、地区内の100歳以上の方5名を文化祭で表彰予定
- ⑥青少年環境一斉点検の結果対応として、白浜公園の欒(ケヤキ)の危険枝排除は緊急対応が必要ため別途要望し、その他は取りまとめて各行政あて要望

❖海岸地域バスの運行改善要望

前号の区長会結果の記事でも簡単に紹介しましたが、内山商店(鮎川町)の営業が終了したことにより声の上った海岸地域バスの運行改善の要望書を、6月22日(木)に水上連合会長が市役所の地域交通課へ提出しました。要望の概要は次のとおりです。

- ①鮎川町内の現行の国道305号線経路を旧道(通称「中道」)経路に変更
- ②国見町経路の便がゲンキーなつめ店へ直結するようダイヤ改善

❖ 青少年育成福井市民会議 支部長会

6月20日(火)夜、福井市のアオッサにて青少年育成福井市民会議の支部長会議が開催され、国見からは山本支部長の代理で事務局長の松井公民館長が出席しました。会議では内田会長の「地域の子供達は地域が一丸となって育てるという行動方針のもと、各支部長は地域内連携の役割を担って欲しい」とあいさつがあり、今年の青少年環境一斉点検の実施方針等の説明がありました。今年も市内全域で、公園や河川敷等、子ども達の遊び場を中心に危険個所の点検が実施されるとのことでした。「かけこみ110番」については、実際には子ども達の利用頻度が少なくても、このステッカー貼付が犯罪者に対しての抑止力になるとの説明もありました。また同会議の川西ブロックにおいては、今年鷹巣地区が当番で12月頃にブロック研修会を開催することも協議されました。

この市民会議の国見支部は、昨年より国見地区青少年育成会と統合した団体として活動しています。



❖ 青少年環境一斉点検

7月2日(日)の午前、国見地区青少年育成会主催の「青少年環境一斉点検」が行なわれました。この事業は地区自治会連合会、小中学校、保育園、小中PTA保護者会、実年会、防犯隊、公民館が連携し、各町内に子ども達にとって危険な箇所が無いかどうかを点検するもので、各団体の役員さんや青少年育成推進員の皆さん約30名が5班に分かれて町内ごとに実施しました。その結果、側溝の蓋の破損、ガードレールの劣化等、の要改善箇所が指摘され現在その集計作業中です。そのうち、個人や自治会に対応するもの以外については、県土木事務所や市役所担当課へ改善の要望書を提出するなどしていきます。

❖ 鮎川海水浴場 海開き

鮎川観光協会が主催する鮎川海水浴場の海開きが、7月10日(月)午後、松田県議会議員、市役所の前田企業管理者、寺井商工労働部長、清水農林水産部長、地区の商工会、警察、消防、学校関係者等の来賓も併せた約30名が出席し開催されました。安全祈願の神事後、献花の代わりにサザエが海に撒かれました。観光協会の石丸会長は「新型コロナウイルス感染症も第5類に見直され、今年コロナ前のような賑わいが戻って来ることを願っている」と挨拶していました。



❖ 夏休みワイワイ広場

公民館の教育事業で毎年恒例となった夏休みワイワイ広場を今年も開催します。日程下記の通りです。

8月3日(木) … 「海の生き物教室と工作」講師：国見くらげ公民館 田中俊之館長

8月9日(木)、25日(水) … 「版画教室」講師：版画家 おさのなおこさん

※こちらは児童対象の事業です。緑ヶ丘保育園児童クラブ、国見小学校を通じて申込用紙は事前に配布しています。お問い合わせは国見公民館まで。

❖ 福井の海を守る会 総会

6月23日(金)午前、「福井の海を守る会」の総会が橿公民館にて開催され、国見地区からは、各町内の自治会長、地区自治会連合会の事務局長、公民館長等が参加しました。この会は、橿、鷹巣、国見、越廼の4地区における①国定公園の環境美化推進②広報による啓発運動促進③各自治会が海を守る活動に協力した場合の助成等を主な事業としています。令和5年度もこれまでどおり各地区において海岸ゴミの清掃活動等を実施していくことが決議されました。

各地区の出席者からは、自治会の清掃奉仕作業やボランティア活動で収集した海岸ゴミの処分に対する行政の対応について「処分されるまで時間がかかりすぎる」「市役所の窓口が各課(農村整備課、林業水産課、環境政策課等)に分けられていて判りづらい」等の意見がありました。それに対して、顧問として出席していた青木市議会議員と池上市議会議員から「3月の市議会で議論され、地区住民等が収集した海岸ゴミの処分についての窓口は環境政策課に一本化することが決定している」との報告がありました。さらに「窓口が一本化されても、実際の対応は各課によって違う」「予算がないので対応できないと言われた」との意見もありました。今後は窓口の一本化と合わせて予算の確保についても行政に要請していくとの両議員の話でした。

新会長になった矢谷さん(越廼地区自治会連合会長、令和5、6年度担当)は「いずれにせよ4地区が情報を共有し、歩調を合わせて行政に要望していく必要があるので、各地区からの情報提供をお願いしたい」と締めくくっていました。

❖ 国見柔道クラブ 活動紹介 (礼儀正しく元気よく)

30数年前に鮎川駐在所に杉山巡査が勤務していた頃から活動している「国見柔道クラブ」は現在も活動を継続していて、安川洋樹巡査(鷹巣駐在所勤務)が指導し、木下和則巡査(鮎川駐在所勤務)と大学生の安川琉水奈(るみな)さんがコーチとして指導を補助しています。鮎川町の旧農協会館の2階ホールを会場に、毎週水曜日と金曜日の2回、午後6時30分から8時30分までの2時間の稽古を行っています。18名の会員(保育園児1名、小学生8名、中学生9名)は和やかな雰囲気の中で、元気に柔道を楽しんでいます。令和3年と4年に女子個人戦の部で、県大会3位入賞と北信越大会出場を連続達成していて、今年も上位入賞を目指して頑張っていて、6月の市民スポーツ大会では、優勝1名、三位入賞2名と素晴らしい成績を残しています。指導者の安川巡査によれば「指導方針は、礼儀正しく元気よく」だそうで、地区内の子ども達の健全育成におおいに役立っていると思われます。安川巡査は「クラブのOBやOGも含めて、大人の皆さんでも興味のある方はいつでも遠慮せずに顔を出してください」と話していました。

↓稽古風景



↑市民スポーツ大会で優勝した長谷川想さん(中央)入賞した岩城真歩(右)山口純大さん(左)